

2017年9月28日

厚生労働大臣 加藤勝信さま

日本肺がん患者連絡会

代表 長谷川一男



特定非営利活動法人日本肺癌学会
「切除不能な局所進行性の非小細胞肺癌患者を対象とした
同時併用科学放射線後のデュルバルマブ維持療法の早期承認の要望」
を支持します

9月25日、特定非営利活動法人日本肺癌学会は、免疫チェックポイント阻害薬「デュルバルマブ」について早期承認の要望書を提出しました。

その要望書には

「切除不能局所進行性肺癌(Ⅲ期)の多くが後に局所再発あるいは遠隔転移を起こし、予後が不要であり、過去約20年間ほとんど治療の進歩がみられず、新しい治療の開発が求められていました。今回、国際共同第Ⅲ相比較試験(PCIFIC)において無増悪生存期間を統計学的に有意に延長することができました。(ハザード比0.52 中央値で11,2か月の差)デュルバルマブによる化学放射線療法後の維持療法が切除不能局所進行性肺癌の予後を大きく改善することが強く示唆されていることから、学術的見地並びに人道的見地よりデュルバルマブの早期承認を要望します。」と書かれております。

肺癌は年間およそ8万人がなくなっており、がんの中でも死亡数は第1位です。その中でも、5年生存率15%といわれる局所進行がんⅢ期の患者が、この治療法の恩恵を受けることとなります。この成績は患者にとって希望にほかなりません。日本肺がん患者連絡会は日本肺癌学会の要望書を強く支持します。

日本肺癌学会から提出された要望書について、大所からの対応なにとぞよろしく申しあげます。

日本肺がん患者連絡会所属団体

北海道肺がん患者と家族の会 秋田県肺がんネットワーク「あけびの会」

福井 マスカットクラブ 肺がん患者の会ワンステップ

ワンステップしゃちほこ(東海地区) 三重 肺がん患者の会

神戸肺がん患者会 肺ゆう会 肺ゆう会~なら 肺ゆう会~しが

ライオンハート岡山 肺がん患者サロン ふたば(富山県)